



成長する技術職員組織  
～これまでの5年 これからの5年～

# 大学組織大改正 2022

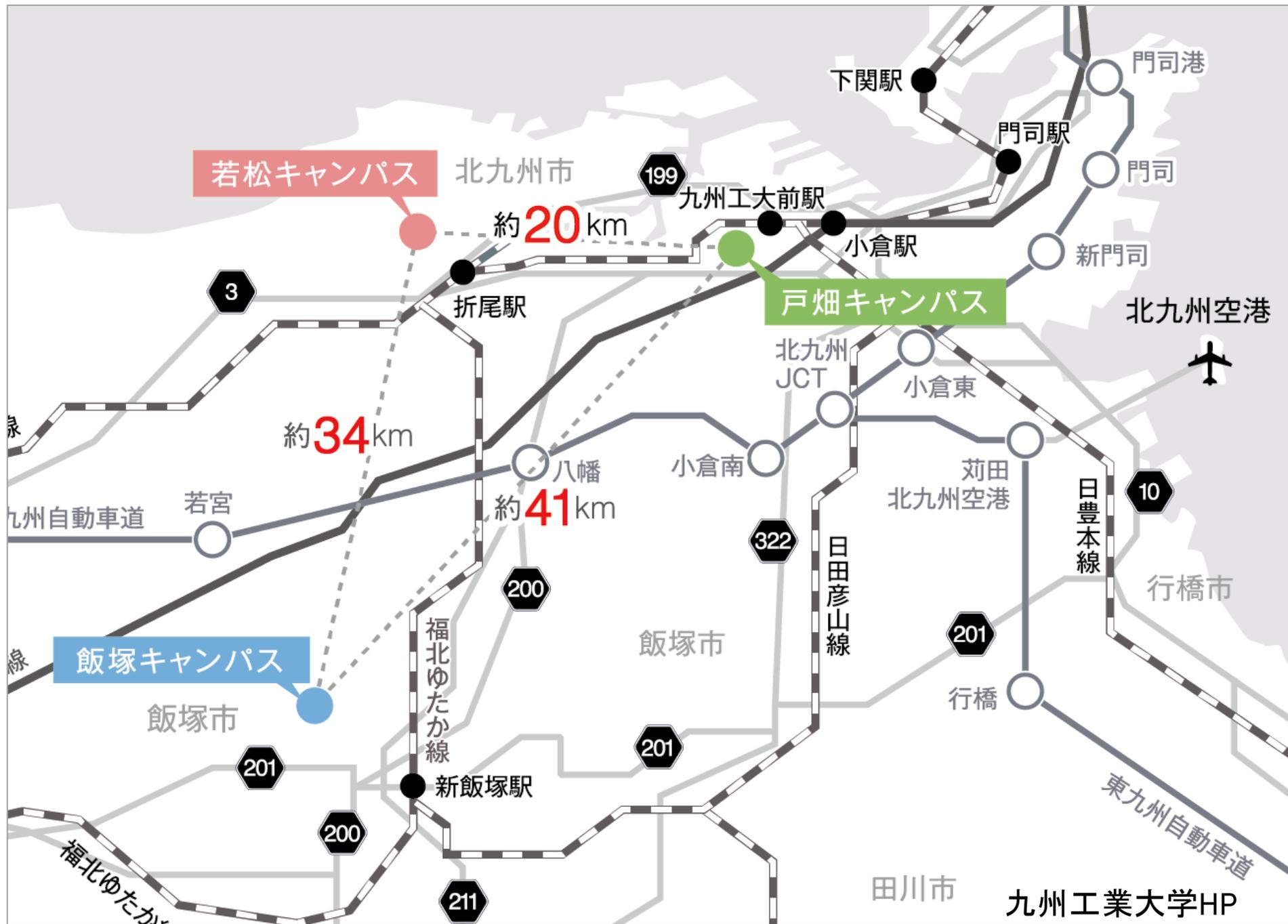
---

九州工業大学 管理本部技術部  
部長 修行美恵

大学技術職員組織研究会シンポジウム 金沢会議  
20230327

# 0. 大学紹介

学生数 5600人  
職員数 950人

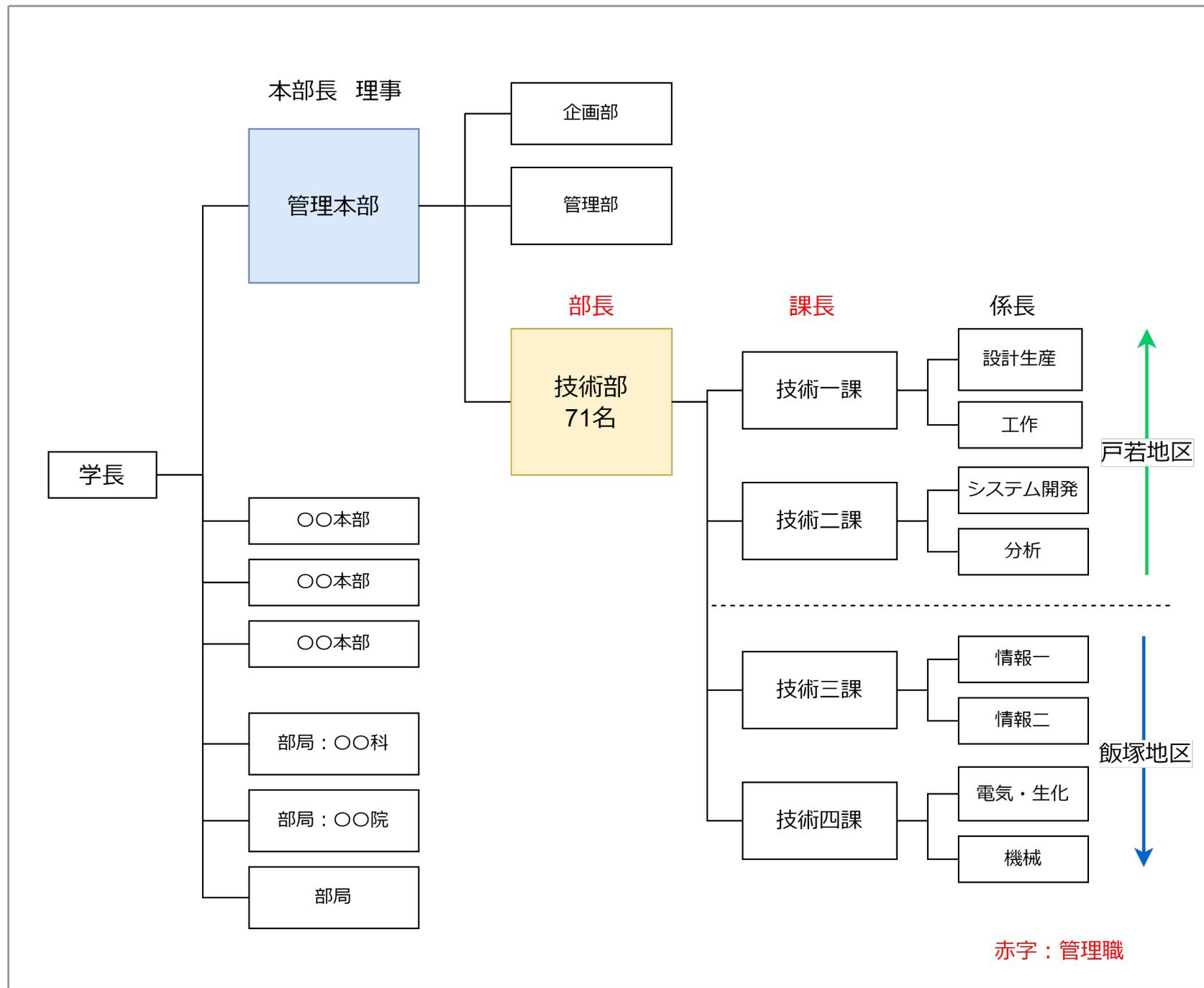


# 1. 組織紹介

令和4年度 (2022)

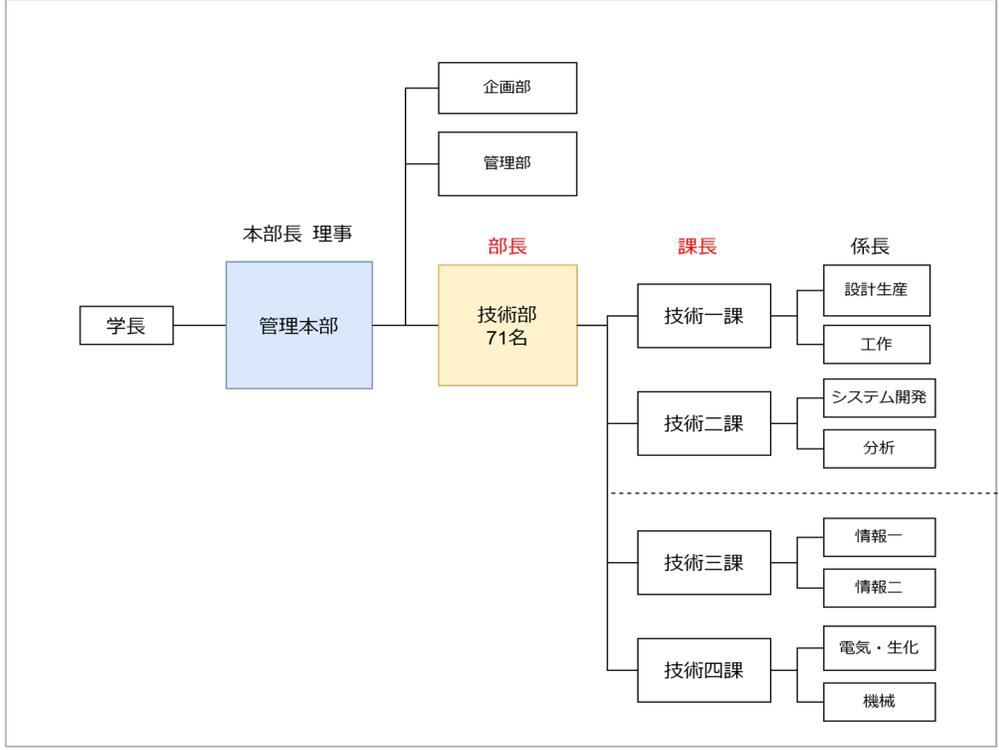
管理本部 技術部

- ・本部制
- ・部課長制



## 2. 取り組みの紹介

# 技術部の方針と方策を立案



方針と方策の関係

## 2. 取り組みの紹介

# 2022年度 管理本部方針

## 方針2. 中期テーマを確実に遂行する。

### 方策 2.4

技術支援業務の運営・組織体制を最適化する

水準： ○月1次案提出、○月最終案

## ―抜粋―

## 方針3. ステークホルダーの エンゲージメントを強化する。

### 方策 3.3

働きがいのある職場環境実現に取り組む

管理本部方策 2.4 技術支援業務の ①運営  
②組織体制 を最適化する

技術部の方針：活動 と 人材 を効率化する

環境を整える  
持続する

方策1：技術部の業務を「技術業務」と「業務マネジメント」の2つの側面で明確にする。

方策2：方策1の分析基準（ものさし）を検討し、決定する。  
ニーズ 時間 レベル …

### 管理本部方策 2.4 技術支援業務の ①運営 ②組織体制 を最適化する

#### ■ 業務整理と統一

業務調査 4本柱：教育 研究 情報基盤 安全衛生

業務グループの統一

予算案の統一

人事（材）交流のルール化

再雇用の業務

#### ■ 新規採用

採用計画の立案



人事（材）交流のイメージ

## 2.取り組みの紹介

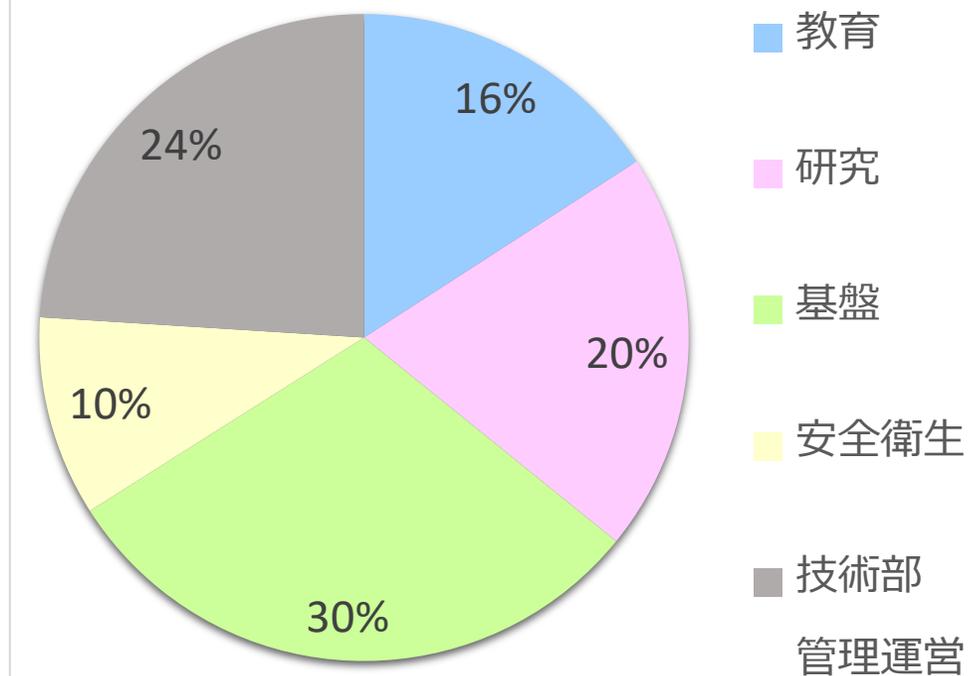
### ・技術業務の分析例：業務時間の集計 → 学長 役員 部局にヒアリング

1年間の全技術職員の業務時間を「業務の4本柱+技術部業務」に分類して集計・分析

#### 業務割合のイメージ表

		業務時間 (業務名) [h]	業務時間合計 [h]	割合 業務割合 (対総時間) [%]	柱相互の割合 業務割合 (対4柱時間) [%]
調査期間：2021年3月～2022年2月					
教育	学生実験・演習		○○	16	21
	保守・管理・運営				
研究	保守・管理・運営		□□	20	26
	研究業務				
	製作・工作				
基盤	情報基盤		○○	30	40
安全衛生	安全衛生関連		××	10	13
技術部 管理運営	部会・支援チーム		△△	24	
	研修・講習会(セミナー)				
	管理業務				
	各種会議・打ち合わせ				

業務割合 グラフ (イメージ図)



# PDCAを回せ！！ 本部長の口癖



問題の**根本**を突き止め



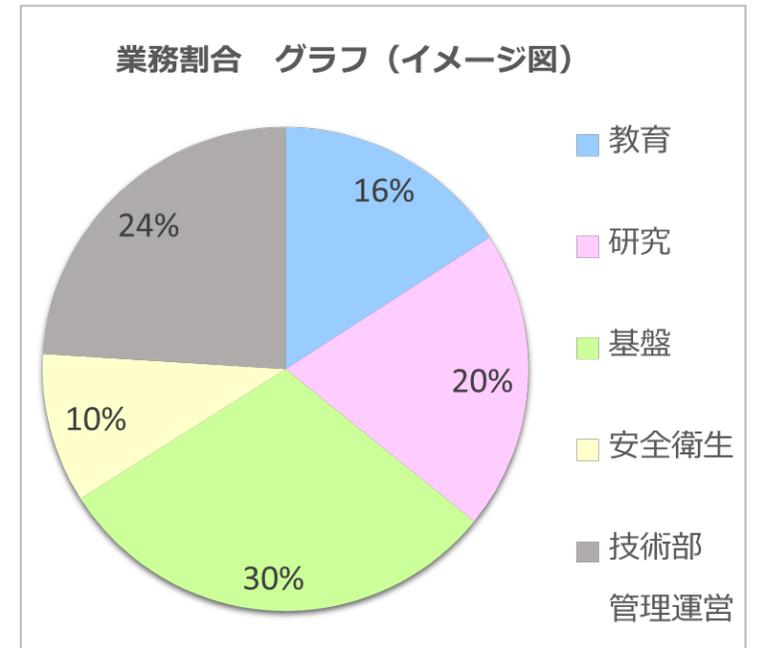
仮説を立ててデータを収集・分析し



対策を実行して



仮説が正しいのか 検証せよ



# 2022 総括

## 目標管理への移行

- 方針方策目標達成
- 進捗管理

## 方策の実施

- 運営の統一
- 業務時間の可視化
- PDCA

## 役員・事務系との協働

- 役員との関わり 増
- 本部長会議
- 横断的連携

課題：大学組織への貢献を継続するために必要な採用の提案

技術職員すべてが活躍できる体制と運営の確立

適材適所と活性化のための人事異動と構成員の意識改革